

「大学生の注意欠如多動症（ADHD）特性が修学に及ぼす  
要因に関する調査」についての説明文書

## 1. はじめに

この研究は、学生のみなさんを対象とした、病気が引き起こす機能障害の原因の解明、予防・診断・治療方法の改善をはかるための臨床研究であり、健康の保持増進や、発達障害をもつ学生さんの病気の回復や生活の質の向上に役立つ情報を得ることを目的として行われます。臨床研究は、みなさんのご理解とご協力によって成り立っています。

この研究は徳島大学病院生命科学・医学系研究倫理審査委員会で倫理的観点および科学的観点からその妥当性についての審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。

## 2. この臨床研究を行う目的および意義

この研究では、大学生・大学院生がもつ ADHD の特性が、行動や気分、自己評価や考え方にもどのように関係しているかを調べることで、ADHD をもつことで支障をきたしやすい修学の達成に及ぼす要因を同定することを目的とし、その知見をもとに ADHD 特性をもつ人の生活の質の向上に役立てていける可能性があります。

## 3. 対象者として選定された理由

この研究では一般的な傾向との比較を行うため、徳島大学の大学生・大学院生のみなさんを対象に調査への協力をお願いしています。

## 4. 参加について

このアンケート調査に参加するかどうかはあなたの自由な意思で決めてください。参加されない場合も今後のキャンパスライフ健康支援センターでうける医療や支援、他のサービスにおいて不利益を受けることはなく、成績に影響を与えることもありません。また、参加に同意した後も、送信（提出）をせず回答をやめることで一切不利益を受けることなく、同意を撤回することができます。なお、今回実施するアンケート調査は無記名のため、アンケート調査を提出（送信）いただいた後に同意を撤回することはできませんのでご了承ください。

## 5. 研究の方法

質問は ADHD 症状についての質問のほか、行動の特徴、最近の気分、自己評価、物事の結果に対する考え方についての質問があります。すべて選択式で、回答にかかる時間はおよそ 10 分間です。本研究で得られるデータは、診断目的ではなく研究目的で行うもので精度が保証されていないため、それぞれの方への調査結果の開示は行いません。

## 6. 実施予定期間と目標症例数

アンケートの実施予定期間は倫理委員会承認日～2022年8月31日までを予定しています。目標対象例数は100例です。研究全体の実施予定期間は、徳島大学病院生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を得て所属機関の長より研究実施許可を得た日から2024年3月31日ま

で実施します。

## 7. 収集する情報を含む個人情報の取扱いおよび廃棄の方法

収集したデータは、研究終了後5年間、研究実施期間の施錠可能な場所に保管します。保管期間終了後は、適切に消去及びシュレッダーにて破棄し、本研究の情報は、本研究以外には使用しません。

## 8. 予想される利益と不利益

回答に要する時間の負担をおかけします。回答に伴うその他のリスクや、研究に協力いただいた方への直接の利益はともにありません。研究に参加しない場合も、成績等の評価に影響を及ぼすことは一切ありません。

## 9. 費用負担の有無・謝礼について

この研究に参加することにより、費用の負担や謝礼は発生しません。

## 10. この研究に関する情報の公開・結果の公表

回答して頂いたデータは個人を特定できないよう対処した上で、得られた結果を学会や医学雑誌などを通じて公表する場合があります。

## 11. 資金源および研究に係る利益相反

この研究は、本院の研究費で実施され、特別な研究資金はありません。この研究にかかる利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ています。

## 12. この研究の結果から生じる知的財産権について

該当なし

## 13. この研究の実施体制

研究代表機関：徳島大学キャンパスライフ健康支援センター保健管理部門

研究責任者：井崎ゆみ子

問い合わせ先：Email：hokencenter@tokushima-u.ac.jp

## 14. 相談窓口

上記問い合わせ先へご連絡ください。